



2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月14日

上場会社名 株式会社マネジメントソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 7033 URL https://www.msols.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 信也
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 玉井 邦昌 (TEL) 03-5413-8808
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績（2022年11月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	8,033	54.3	801	264.8	833	264.4	558	304.9
2022年10月期第2四半期	5,204	59.1	219	△24.6	228	△22.8	138	△30.6

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 545百万円 (264.1%) 2022年10月期第2四半期 149百万円 (△27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	33.71	33.69
2022年10月期第2四半期	8.28	8.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	6,806	3,225	45.9
2022年10月期	6,057	2,678	42.7

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 3,125百万円 2022年10月期 2,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年10月期の連結業績予想（2022年11月1日～2023年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	38.3	1,900	158.7	1,900	154.8	1,290	149.4	77.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期2Q	16,806,000株	2022年10月期	16,790,500株
② 期末自己株式数	2023年10月期2Q	224,791株	2022年10月期	220,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期2Q	16,577,071株	2022年10月期2Q	16,667,788株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社の業績は、期中で新たに採用したコンサルタントの売上高が在籍期間とともに積み上がるため、売上高、利益は下期に偏る傾向にあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものの経済活動の正常化も進み、持ち直しが見られました。一方で海外情勢は、長引くロシアによるウクライナ侵攻、世界的な物価の上昇やそれを受けての金融引き締めなど、先行き不透明な状況が続いており、わが国の景気を下押しするリスクがあります。

そのような状況の中、当社グループの主要事業領域であるプロジェクトマネジメントの分野におきましては、IT案件にとどまらず、社運を賭けた重要案件に対する支援を求めるニーズなども含めて多様化しております。特に、社歴ある名門大企業を中心として、社内プロジェクトの実行支援が増加しております。さらには、プロジェクト案件の見直しや再定義のニーズも引き続き旺盛であり、プロジェクト支援に関する潜在需要の拡大が予想されます。

当社は、既存のお客様からのリピート受注に加え、大企業のグループ会社まで対象を広げており、新たなプロジェクト案件の受注に応えるために、積極的に人材を採用し且つ教育・育成を行って参りました。それにとまない、当第2四半期連結会計期間末における連結従業員数は1,000名を超えました。

当社は、「Managementにおける社会のPlatformとなり、組織の変革及び自律的な個人の成長を促す」ことを創業の理念としておりますが、事業年度を重ねるにつれて、新規および既存のお客様との信頼関係は従来に増して深化しております。また、当第2四半期会計期間には本社エリアの増床を行い、理念の実現の場とするべく、100名超の収容が可能な講堂を設置いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,033,439（前年同期比54.3%増）、営業利益は801,966千円（前年同期比264.8%増）、経常利益は833,454千円（前年同期比264.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は558,933千円（前年同期比304.9%増）となりました。

当社グループはコンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、4,721,692千円となり、前連結会計年度末と比較して438,916千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が228,256千円、受取手形及び売掛金が180,270千円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、2,084,717千円となり、前連結会計年度末と比較して310,285千円増加しております。主な要因は、有形固定資産が365,337千円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、2,023,084千円となり、前連結会計年度末と比較して356,320千円増加しております。主な要因は、未払法人税等が141,841千円、その他が200,928千円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、1,558,176千円となり、前連結会計年度末と比較して153,574千円減少しております。主な要因は、長期借入金が154,456千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、3,225,148千円となり、前連結会計年度末と比較して546,455千円増加しております。主な要因は、資本金が16,894千円、資本剰余金が16,894千円、利益剰余金が525,793千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年12月14日付の「2022年10月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、当社の業績は、期中で新たに採用したコンサルタントの売上高が在籍期間とともに積み上がるため、売上高、利益は下期に偏る傾向にあります。2023年10月期四半期業績推移のイメージについては、2022年12月14日付「2022年10月期 決算説明資料」に掲載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,306,000	2,534,256
受取手形及び売掛金	1,853,164	2,033,434
その他	123,611	154,001
流動資産合計	4,282,776	4,721,692
固定資産		
有形固定資産	266,512	631,850
無形固定資産		
のれん	398,812	366,476
その他	478,130	484,476
無形固定資産合計	876,943	850,952
投資その他の資産		
敷金及び保証金	423,107	414,384
その他	207,867	187,529
投資その他の資産合計	630,975	601,913
固定資産合計	1,774,431	2,084,717
資産合計	6,057,208	6,806,409
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,220	300,776
1年内償還予定の社債	60,000	36,000
1年内返済予定の長期借入金	339,774	314,912
未払法人税等	154,879	296,720
株主優待引当金	2,143	—
その他	873,747	1,074,676
流動負債合計	1,666,764	2,023,084
固定負債		
長期借入金	1,654,212	1,499,756
その他	57,538	58,420
固定負債合計	1,711,750	1,558,176
負債合計	3,378,515	3,581,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,395	668,289
資本剰余金	532,373	549,268
利益剰余金	1,762,474	2,288,268
自己株式	△390,244	△390,318
株主資本合計	2,555,999	3,115,507
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,789	9,924
その他の包括利益累計額合計	27,789	9,924
非支配株主持分	94,904	99,716
純資産合計	2,678,693	3,225,148
負債純資産合計	6,057,208	6,806,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
売上高	5,204,842	8,033,439
売上原価	3,234,537	5,094,663
売上総利益	1,970,305	2,938,775
販売費及び一般管理費	1,750,458	2,136,809
営業利益	219,846	801,966
営業外収益		
受取利息	197	193
為替差益	2,284	4,863
投資有価証券売却益	53	14,999
受取賃貸料	7,333	1,687
保険解約返戻金	—	10,595
その他	2,783	3,911
営業外収益合計	12,651	36,252
営業外費用		
支払利息	3,767	4,696
その他	0	67
営業外費用合計	3,767	4,764
経常利益	228,730	833,454
税金等調整前四半期純利益	228,730	833,454
法人税、住民税及び事業税	68,150	249,529
法人税等調整額	18,654	18,492
法人税等合計	86,805	268,021
四半期純利益	141,925	565,432
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,879	6,498
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,046	558,933

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	141,925	565,432
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,991	△19,551
その他の包括利益合計	7,991	△19,551
四半期包括利益	149,916	545,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,231	541,069
非支配株主に係る四半期包括利益	5,685	4,811

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。